

教科書： 筑摩書房「精選現代文B」

副教材：浜島書店「増補版常用国語便覧」いっずな書店「Top2500」桐原書店「Z会パワーマックス8」

数研出版「読解を深める現代文単語〈評論・小説〉」

学習目標

本校の国語科の目標

- ①国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高める。
- ②思考力や想像力を養い、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。
- ③国語に対する認識を深め、国語を尊重しその向上を図る態度を育てる。

第6学年の目標

- ①近代以降の文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高める。
- ②様々なタイプの文章を読み、批評することを通して、自らの思考力を発展させる。
- ③さまざまな文章を読み、そこから価値を見つけ出す感性と、好奇心・探求力を培う。
- ④語彙力を豊かにし様々な表現技法をみがく。
- ⑤問題演習力を身につける。

学習方法

- (1)本文を読み進め、その内容およびテーマについての解説や説明を行う。
- (2)ノート・プリントに必要事項を整理し、教員の発問に答える。
- (3)説明された事項に関して思考し、質問する。
- (4)学んだ内容について整理して、まとめる。

評価の観点・方法

以下の観点に基づき、生徒一人一人の活動をしっかりと単元ごとに評価を行います。

観点①	自分の考えをまとめたり、深めたりして、目的や場面に応じて筋道を立てて話したり、的確に聞き取ったりしている。				
観点②	自分の考えをまとめたり、深めたりしながら、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書くことができている。				
観点③	自分の考えをまとめたり、深めたりしながら、相手や目的に応じ、筋道を立てて様々な文章を的確に読み取っている。				
観点④	国語や伝統的な言語文化への関心を深め、国語および伝統的な言語文化を尊重し、進んで理解・表現し伝え合おうとしている。				
	評価の方法\観点	①	②	③	④
	授業状況観察	○	○	○	○
	課題などへの取り組みと提出状況		◎		◎
	小テスト(漢字テスト、文法テスト)など		◎		◎
	定期テスト、課題テストなど	◎	◎	◎	◎

学習内容

	具体的な学習到達目標	学習内容／教材	特記事項・他
1 学 期	教科書 ・文化人類学における「贈与」と近代文明の関係を考える。 ・筆者が現代中心の歴史観についてどのように批評しているかを理解する。 演習 ・共通テストの問題形式を知る。時間配分ができる。 ・各私大の設問傾向を知る。 ・語彙を増やす。	教科書 中沢新一「Not I, not I...」 谷崎潤一郎「陰影礼讃」 小林秀雄「無常ということ」 演習 中間検査まで 共通テスト問題演習 期末検査まで 私大問題演習 現代文キーワード学習	
2 学 期	教科書 ・プロットの展開を押さえることができる。 近代以降の文学史を整理できる。 主人公の考え方や生き方を通して明治知識人の宿命や普遍的な人間の苦悩を理解する。 ・議論の鍵となる概念を示す語の意味を正確に理解できる。 「リスク」のもたらす影響や「リスク社会」の特徴を文脈に即して理解できる。 演習 ・小説や随想の記述問題の解き方について理解する。 ・国公立2次の記述問題の傾向を知る。	教科書 森鷗外「舞姫」 岩井克人「貨幣共同体」 大澤真幸「リスク社会とその希望」 演習 中間検査まで 私大の問題演習 小説・随想に関する記述問題演習 期末検査まで 国公立2次記述問題演習	
3 学 期		演習 それぞれの志望大学に沿った問題演習を行う。	

・・・ 学習方法と学習のアドバイス ・・・

- 1, 言葉の読み方や意味を前もって調べておくことや覚えておくことは、自宅での大切な学習。基本的なことを軽視せずにコツコツと基礎知識を確実に身につけよう。
- 2, (授業で) 先生の話や友達の発言をしっかりと聞いて常に自分の思考と対比し、自分のものと違っている点をノートに書き留める。板書を写すだけのノートではなく、自分だけのノートを作り上げよう。
- 3, 文章を読むときは、主観的に読まず（自分の偏見や思い込みを極力排除して）筆者の意識で客観的に文章を読むことを心がけよう。

○ 自分がつかんだ読解内容を、相手にわかりやすく表現して伝えるための、論理力と姿勢を身につける。そのために、思考力や想像力を養い、言語感覚を磨き、言葉そのものに対する関心を深めよう。